

**【NEWS RELEASE】**

2022年2月28日

各位

株式会社三井住友銀行

地主プライベートリート投資法人に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、地主プライベートリート投資法人（執行役員：西羅 弘文）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、地主プライベートリート投資法人については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 適切な事業用地・テナントの選定による、地域の居住環境の改善や災害に強いまちづくりへの貢献

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
	11.5 2030年までに、貧困層および脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害等の災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。
目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）および適応の能力を強化する。

- ② 女性役員の積極的登用を通じた女性の活躍推進

目標 5 ジェンダー平等を 実現しよう	5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画および平等なリーダーシップの機会を確保する。
---------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



<コーナン高槻>

2018年6月の大阪府北部地震の発生から2日後に、テナントであるコーナン商事は、高槻市に対し、損壊住居用のブルーシート約1,000枚を提供



<ビバホーム埼玉東松山>

2020年7月に、テナントであるビバホーム（当時はLIXILビバ）は、埼玉県東松山市と「災害時における物資の供給等に関する協定」を締結

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。